



H27年度検討の概要

- 近年、地球温暖化などの気候変動により豪雨等の発生頻度が高くなっている傾向にあります。これにより、計画規模を上回る洪水(超過洪水)が発生する恐れが高まっています。
- 本検討は、「香川地域継続検討協議会」(会長：香川大学危機管理研究センター長)と連携し、土器川で大規模河川氾濫が発生した際の被害想定に対して、地域が連携した「水災害に適応した強靱な社会作り」に向けた検討を、平成25年度から継続して検討を進めています。
- 平成27年度の取り組みは、**地域住民の目線を取り入れた「アクションプラン」や「タイムライン」**のとりまとめに資するものです。
- そのため、土器川沿川の**モデル地区を対象に**、地域住民の考える防災行動等に関する意見交換・意見集約の場として**ワークショップを開催**します。

● 香川地域継続検討協議会（既存会議）

- ・メンバー 国地方支分部局、香川県、高松市、坂出市、経済団体、香川大学、インフラ各社等
- ・設立 平成24年5月31日



連携 「アクションプラン【行動計画書(案)】」の検討(河川・地域行政と地域住民が連携したタイムラインのとりまとめ)

● 水害に強いまちづくり検討会

- ・メンバー 香川大学危機管理研究センター、香川県(危機管理課、中讃土木事務所)、丸亀市、まんのう町、坂出市、善通寺市、宇多津町、琴平町、香川県防災士会、高松地方気象台、四国地方整備局香川河川国道事務所



モデル地区における地域住民を対象とした情報共有・意見集約

★ 水害に強いまちづくりワークショップ (WS)

- ・メンバー 土器川下流部右岸(丸亀市土器町)の地域住民、香川大学危機管理研究センター、香川県(危機管理課、中讃土木事務所)、丸亀市、香川県防災士会、高松地方気象台、四国地方整備局香川河川国道事務所

～ 水害に強いまちづくりワークショップの流れ ～

	情報の共有	意見出しのテーマ
第1回 WS	モデル地区における複合災害(堤防決壊、土砂災害、内水を想定) 既存の情報伝達手段	住民目線による 時間軸 に応じた 防災行動 を考える (いつ、誰が、何をするか)
第2回 WS	災害警戒期の タイムライン(たたき台) の提示 (第1回WS意見の反映)	防災行動の課題 を考える (タイムラインに従って行動すれば、安全に避難ができるか)
第3回 WS	災害警戒期の タイムライン(素案) の提示 モデル地区における 住民目線での課題	水害に強いまちづくり を考える (私たちが出来ることから、始めよう)

ワークショップの概要

◆H27年度のワークショップの位置付け

11/7実施

- 大規模水害発生後の“**地域の生き残り計画**”について、“**住民目線**”で議論する先進的な取り組みです。
- “**上下流の地域が一体**”の広域的な取り組みを進める中で、土器川沿川の**モデル地区を対象**とした検討です(ワークショップは**全3回開催**します)。

◆ワークショップのねらい

- 土器川流域において、“**水害に強いまちづくり**”を目指した流域・地域で一体となった大規模水害対策を推進していきます。

H27ワークショップ等に関する詳しい情報はこちら・・・

平成25年度からの取り組みや本検討の詳しい内容、ワークショップの開催告知・報告などの情報は、以下のアドレスから閲覧することができます。



香川河川国道事務所ホームページから、左のバナーをクリックしても閲覧できます。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/river/daikibosuigai/index.html>

「土器川における水害に強いまちづくり検討」、「ワークショップ」に関するお問い合わせは・・・



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32

TEL : 087-821-1623 (計画課直通) FAX : 087-821-1713



「第2回水害に強いまちづくりワークショップ」を開催しました

- 平成27年11月7日（土）に土器川下流部右岸モデル地区（丸亀市土器町）の地域住民等約50名が集まり、「第2回水害に強いまちづくりワークショップ」を丸亀市民会館（中ホール）にて開催しました。
- 第2回ワークショップ開催の様子や検討内容等について、ご報告します。

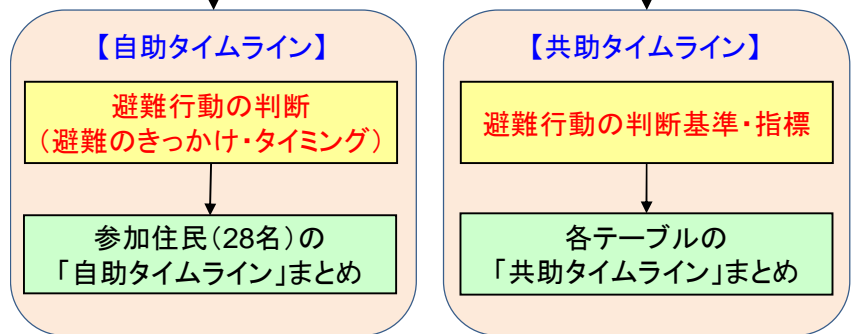


第2回ワークショップの内容

◆第2回ワークショップ検討のテーマ

- 第1回ワークショップの住民意見まとめより、避難行動における『**避難の目安**、**避難のタイミング**』を検討のメインテーマとしました。
- 第1回ワークショップでの「大規模水害時の住民の防災行動に関する意見」に基づく『**住民タイムライン（たたき台）**』を参考に、「**避難行動のきっかけ・タイミング**」を検討し、自分自身と地域コミュニティの「**タイムライン**」を検討しました。

第1回ワークショップ 住民タイムライン（たたき台）



第2回ワークショップ検討の内容

【検討：タイムラインをみんなで作成しました】

- ◆ 土器川の堤防が決壊するほどの大規模な降雨が継続した場合、時間の経過とともに発表・公表される**各種情報（危険情報、災害情報、避難情報）**を基に、参加住民それぞれで**自分自身の「自助タイムライン」**を作成しました。
- ◆ また、5テーブル毎に対象地区を想定し、**地域コミュニティの「共助タイムライン」**を作成しました。

時間	起こり得る現象		気象情報		国		丸亀市			避難行動
	台風	災害	高松地方気象台	香川河川国道事務所	避難勧告等の発令			避難行動		
					洪水（土器川）	内水氾濫	土砂災害			
2日前										
-24h										
-12h										
-6h	上陸の可能性									
-5h	九州に接近									
-4h	四国に接近									
-3h										
-2h										
-1h										
0h										

タイムラインのイメージ



検討の様子

◆第2回ワークショップを実施して…

- ◆ 水害の危険が迫る中でのタイムラインを作成してみたことで、避難行動に関する数多くの意見が出されました。

<例えば>

- 【自助タイムライン】人によって避難タイミングが異なる／避難のタイミングが遅いかなあ／たくさんの情報を知ることが避難に関するスキルアップに必要 etc
- 【共助タイムライン】地域で危機意識を持つ／日頃からの交流が助け合いに必要／防災組織の体制の充実 etc

次回は、『住民タイムライン（案）』をまとめます

タイムラインを実行することの“良いこと”や“課題”等を意見カードに記入・整理しました。



テーブル発表の様子